

## 第 27 期 定時株主総会 質疑応答の要約

当社株主総会における株主の皆さまからのご質問と、当社からの回答の要旨です。なお、理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

### Q1 経営陣は当社の株式を保有すべきと考えるが、役員の新株予約権の行使について教えてほしい。

---

A1 新株予約権の行使については、最終的には個人が決定すべき問題だが、今後株式保有を前向きに検討したい。

### Q2 三木取締役は兼職が多いようだが、一人何役もこなせるものなのか。

---

A2 三木取締役は、長年当社監査役を務め、当社の事業内容に精通しており、IT 業界に関する幅広い経験および見識を持っている。また、スケジュール調整を行い、支障なく取締役会に出席し、適切な発言を行っている。そのため、社外取締役としての務めを十分果たしていると考えている。

### Q3 IT 業界は競争が激しく、他社との差別化が難しいと思うが、どのように差別化を図っていくのか。

---

A3 昨今、お客様においてはクラウドサービスを利用する需要が増加している。当社は、多くのシステム開発や IT 基盤構築の経験があり、その実績を活かしお客様のシステムをクラウド上で構築し、運用監視サービスを独自で提供できることがポイントである。

また、当社は、独自の技術を所有している会社を子会社化してきた。今後、IoT やクラウド市場の成長を鑑み、技術的・資本的に当該企業をサポートすることで、その強みを最大化させることが、当社グループの大きな成長につながるものとする。

### Q4 ROE や配当性向について、目標数値はあるか。

---

A4 ROE について、具体的な目標数値は公表していない。ROE 向上のためには、利益を伸ばすか、自己資本を減らすか 2 つの施策が考えられる。現段階では、当社グループのさらなる成長のため、利益を伸ばす方向に注力する考えである。

配当については、前期と同様に 1 株当たり 20 円と設定しているが、今後、経済環境や当社の利益状況等を勘案しながら、配当や ROE の目標について検討を進めていく。